

社団法人 石川県作業療法士会

第83号 2012年7月20日 発行

ニュース

踊り流しに参加して

浅ノ川総合病院 岩島 寛

6月2日に、第61回金沢百万石まつりの踊り流しがあった。私は作業療法士となって2年目で、踊り流しに参加するのも2回目だったが、昨年と比べ、風が強く少し寒いコンディションの中での踊り流しだった。しかし、いざ踊ったり、お酒を飲んだりすることで寒さなど気にせず楽しく踊ることができた。私は祭りというものが好きで、このような金沢の大きな祭りに参加でき、とても光栄に思っている。一方で、石川県作業療法士会の一員としての活動であったため、その名に恥じないように行動しなければというプレッシャーもあった。

私は石川県作業療法士会としての踊り流しのような活動に参加することはとても貴重な経験だと思っている。普段、職場で働いていても、他の病院や施設の作業療法士とは関わることは中々少ないが、このような活動を通すことで楽しく他の職場の方々と関わることができ、新しいつながりを築くことができている。他の先輩方の話を聞くことができるだけでも価値のあることであり、自分の作業療法士としてのあり方にも参考になることだと思う。

私は、もし体力があれば今後も踊り流しに参加し、もっと繋がりを築いていきたいと思う。もちろん、踊り流しだけではなく、他の活動にも機会があれば参加していきたいと思う。



浅ノ川総合病院 徳川 恭子

作業療法士1年目、日々色々な出会いがあり、毎日楽しく過ごさせていただいている。

今回初めて、百万石まつりの百万石踊り流しに参加した。研修後、踊りの練習をし、覚えたてで体に馴染んでいなく、最初は動きが小さくロボットのような感じだった。踊りに慣れた頃には終わってしまったが、全員で手をつないでスキップをしたりとみんなが笑顔で踊り流し、心が一つになっていたと思う。時間はあっという間に過ぎ、本当に楽しいひと時だった。また、この百万石踊り流しを通して、他の病院・施設の方々とも交流が持て、これからも多くの人たちと出会い、人と人の繋がりを大切にしていきたいと思った。

表彰受賞祝賀会、新会員歓迎会

城北病院 小池 隆行



2012年5月19日（土）、金沢スカイホテルにて石川県作業療法士会表彰受賞祝賀会と新会員歓迎会が行われた。今年は従来と内容を変え、表彰受賞祝賀会では受賞者から挨拶をいただき、新会員歓迎会では、各施設の先輩作業療法士が新人を紹介する場を設けることとした。そのこともあって参加人数は例年より増え、新会員は46名（26施設）、一般86名、表彰5名の合計137名の参加があった。

会は会長挨拶と乾杯でスタートし、歓談時間をはさんで新人紹介へ。はじめてのこの企画は大きく盛り上がり、どの施設にどんな人がどれだけ入ったか、お互いに知ることができる良い機会となった。先輩が参加できなかった施設の新人は、その施設が所属する県士会支部の支部長が代わって紹介を行った。新人紹介の後は専従事務局員となる作業療法士の紹介を、会長より受けた。その後、表彰受賞者より熱いメッセージをいただいた。聞いている我々にとっても、作業療法士をめざした初心を思い起こさせ、また明日からがんばろうという気持ちになった。暮れなずむ金沢の町を見下ろしながら、飲み、語り、笑い合い、2時間があっという間に過ぎた。新年度のスタートとして充実した会になったと思う。

準備に関連していくつか課題も残った。会員の参加があつて成り立つ会であるので、今後も、新人を迎えた施設の先輩はもちろん、そうでない作業療法士も多く参加し、一緒にもりあげていただきたいと思う。

新入会員（57名）の皆様

浅ノ川総合病院
徳川 恭子
医王病院
芹澤 宏太
えんやま健康クリニック
塚谷 理子
東本 知華
岡部病院
藤坂 優夏
石崎 詩織
金沢医科大学病院
五十嵐 ひかる
入江 啓輔
中寺 智也
松井 友美
山崎 佳子
金沢赤十字病院
中川 ひかり
金沢大学附属病院
大畠 幸恵
金沢脳神経外科病院
井上 美穂
品田 圭介
西川 由衣
八神 梓
吉田 美穂
株式会社 アルバ
山本 真由実
上小松クリニック
猪谷 拓充

恵寿総合病院
北谷 渉
生田 隆倫
公立つるぎ病院
坂田 香奈
苗山 卓弘
公立能登総合病院 精神センター
小谷 朋美
済生会金沢病院
森 彩香
山本 亜紀
桜ヶ丘病院
北川 侑希
サンビューかなざわ
新村 菜穂香
城北病院
上杉 静香
城野 有希子
野原 瑞恵
町立富来病院
加藤 孝之
七尾病院
富田 茜
七尾松原病院
石川 恵
藤井脳神経外科病院
亥上 卓身
井手 晴美
内藤 佳美

二ツ屋病院
藤森 里美
宮田 麻衣
芳珠記念病院
北原 久代
高山 恭兵
民山 和也
藤井 己浦
三浦 梨恵
まだら園
森田 満美子
松原病院
松本 香奈
八十島 由季
南ヶ丘病院
蓮池 恵
山中温泉医療センター
東出 芳成
本谷 好
やわたメディカルセンター
井家 歩美
西田 紘規
八木 隆治
和光苑
濱田 麻美
自宅
相川 美紗子
筒井 真愛

(順不同)

金沢市の健康フェアに参加して

金沢東支部担当理事
桜ヶ丘病院 岡田 千砂

平成24年4月14、15日に金沢健康プラザ大手町において、「健康づくりフェア」が開催された。当会からは、新しく出来た『認知症予防のヒントの簡易版』を活用して、「もの忘れチェックとバランス能力チェック」を行った。物忘れに悩んでいる方も多く、もの忘れチェックを行うことで、安心される方もおられた。参加者は、兼六園や城址公園の桜の花が満開であったためか、例年にない盛況ぶりで、前年度にくらべ約2倍の約200名の参加であった。

2日目は、介護予防のテーマで、恵寿総合病院のOT3名（進藤会長も）が講師となり、実演を含めて講義があった。恵寿総合病院のOT、PT、STが考案した体操「しあわせなら手をたたこう」に合わせて、転倒予防や嚥下訓練、認知症予防の要素が組み込まれた体操で、会場はおおいに盛り上がった。



平成24年度石川県作業療法士会表彰式典について

副会長 中川 等史



平成24年5月19日（土）金沢スカイホテルにて第39回（社）石川県作業療法士会総会時に県知事表彰、永年会員表彰が執り行なわれた。今回の県知事表彰受賞者は、石川県立中央病院の西川 拓志先生。永年会員表彰受賞は11名で、老人保健施設なでしこの丘 吉田 正恵先生、介護老人保健施設あづる 番匠 陽子先生、石川県立高松病院高松ダイケアセンター 大西 真澄美先生、金沢脳神経外科病院 高多 真裕美先生、岡部病院 佐々木 久

美子先生、介護老人保健施設内灘温泉保養館 奥田 友紀先生、寺井病院 庭田 祐子先生、介護老人保健施設あんじん金沢 上田 千里先生の8名が当日出席された。また、都合で出席されなかった方は、医王ヶ丘病院 松山 暁子先生、ケアパック石川 塩谷 真美先生、志賀町保健福祉センター 笠間 純子先生だった。受賞者の先生方、本当におめでとうございます。

今回知事の代役として、石川県健康福祉部 参事 北川 龍郎様が出席され、祝辞を頂いた。また知事表彰者の西川 拓志先生、永年会員表彰者代表として大西 真澄美先生にそれぞれ謝辞を頂いた。表彰式には多くの会員の皆様にも参加して頂き、出席した表彰者9名で大変賑やかな表彰式となった。

年々多くの会員が入会し県士会員も600名を超えるようになった。表彰委員会としても今後もより多くの永年会員表彰、知事表彰、そして今年を対象がなかったが、優秀論文表彰受賞者を選出していきたいと考えている。そして、（社）石川県作業療法士会がますます発展してくれることを期待する。



研修会報告

第7回達人作業療法研修会 「A-ONEインフォメーションコース」に参加して

石川県済生会金沢病院 山本 亜紀

平成24年5月13日(日)に、石川県立中央病で開催された達人作業療法研修会に参加した。「A-ONEインフォメーションコース」と題し、日本で唯一のA-ONE認定評価者である松原麻子先生(広島市総合リハビリテーションセンター)を講師に迎え、開催された。総勢52名の参加者で活気溢れる研修会であった。

A-ONE(ADL-Focused Occupation-based Neurobehavioral Evaluation)は、ADLに重点をおき作業に基づく神経行動学的評価法である。ADL・APDLの評価法として、Assessment of Motor and Process Skills(以下AMPS)が知られている。2つの違いは、A-ONEは特にADLに焦点をあてている点、作業遂行中のエラーと神経行動学的障害とを関連付けし、障害病巣について仮説形成をするという2点である。

ADLの評価法で自立度を示す物は多いが、作業療法の知識に根ざしたものは少ない。その中でA-ONEは、「なぜ、ADLに問題が生じるのか…」と言う疑問に対し、認知-知覚と関連付けるため、本来の作業療法の知識に根ざしている。そのため、作業療法士としてアプローチしていく事が可能となる画期的な評価法と言えるであろう。

私自身、臨床場面で、作業療法士の専門性に悩む事が多い。その中で、AMPSを含め、A-ONEなど、作業療法の知識に基づいてADLを評価出来る事は、自身の専門性の確立にもつながるのではないだろうかと感じた。そして、研修会を通し、改めて「作業療法って面白い!!」、「明日からまた臨床で頑張ろう!!」と感じる有意義な研修会であった。

「生活行為向上マネジメント研修」伝達講習会を開催しました

野々市市地域包括支援センター 寺尾 朋美

日本作業療法士協会が平成24年度の重点課題研修として掲げている「生活行為向上マネジメント研修」の伝達講習会を平成24年5月19日土曜日、金沢スカイホテルにて開催した。講師は、平成24年2月に東京で開催された研修会に参加した介護老人保健施設ふいらーじゅの西谷すずな氏、恵寿総合病院の道善智香氏であり、参加者は40名であった。

講習は、生活行為向上とはどのようなことか、目的、考え方等から始まり、作業聞き取りシート、作業遂行アセスメント表、作業遂行向上プラン表等のツールの紹介と記載方法、研修会にて行ったグループワークの紹介、実演等があった。



平成24年度の介護保険改正において、「生活機能向上連携加算」「訪問介護事業所との連携に対する評価」「生活機能向上グループ活動加算」が取り込まれ、私達はこの伝達講習で生活行為向上マネジメントに基づき適切に対応していかなければならないことを学んだ。

参加した作業療法士の勤務先は、病院、通所施設、入所施設、訪問系サービス、行政など幅広く、伝達講習会終盤の質疑応答では現状と課題、今後の活用等について様々な意見がやりとりされた。そこから、生活行為向上マネジメントを通して、作業療法士が高齢者の有する能力をアセスメントし、他職種と協働して高齢者の生活を支援することが期待できるように感じた。

生涯教育現職者共通研修のご案内

教育部 寺田 佳世

生涯教育制度は作業療法士の継続的な自己研鑽を支援するための「生涯教育基礎研修」と作業療法の臨床実践、教育、研究および管理運営に関する一定の能力習得するための「認定作業療法士取得研修」および高度且つ専門的な作業療法実践能力を習得するための「専門作業療法士習得研修」で成り立っている。

生涯教育基礎研修は「現職者研修」と「自由選択研修」があり、現職者研修には「現職者共通研修（10テーマ）」と「現職者選択研修」の2種である。中でも現職者共通研修（10テーマ）は協会員として必要な職業倫理や協会・士会活動に必要な事項を習得し、臨床実践の共通の・基礎的能力の向上を目的にしており、卒前教育の復習と水準の担保と臨床実践に必要な基礎能力向上を主眼とされている。なお現職者共通研修の受講は基礎研修のポイントにはなりません。

県士会では1年間で10テーマ全てを受講できるようなカリキュラムで毎年実施してきている。また10テーマのうち2テーマは症例報告として義務づけており、各支部が実施している事例報告の場で発表することで受講終了としている。

今年度の現職者共通研修は6月2日に「作業療法における協業・後輩育成」、7月8日に「作業療法生涯教育方法論」「職業倫理」「保健・医療・福祉と地域支援」が終了した。今後の予定については、12月9日に「エビデンスと作業療法実践」と「作業療法の可能性」、2月3日に「日本と世界の作業療法の動向」と「症例方法検討論」を実施する予定である。残り症例報告2テーマについては、各支部で事例報告する場を会員が自由に選択し実施することで10テーマが終了できる。生涯教育現職者研修は生涯教育制度のスタートともいえる研修なので若い会員の方々の積極的な参加を期待している。

第46回 日本作業療法学会に参加して

金沢脳神経外科病院 河野ちひろ

平成24年6月15日から17日まで宮城県宮崎市で開催された第46回日本作業療法学会に参加した。今回、「本人らしさを考えた外出練習」という演題で、当院で行っている外出練習についての目的や現状とその効果について発表した。日本作業療法学会への参加は初めてであり、とても緊張したが無事に発表を終えることができ、発表やディスカッションを通じて新たな課題を得ることができた。また、3日間の様々な発表やセッションを通して、今後の臨床につながることを多く学ぶことができた。そして、まだまだ私の知らない作業療法のおもしろさがたくさんあり、改めて作業療法が患者さんに及ぼすパワーはすごいと実感した。

学会当日の3日間は大雨と雷で、正直、私が今までイメージしていた南国の宮崎県ではなかった。しかし、宮崎県のおいしい食べ物や楽しいお酒を味わうことができ、普段はあまり関わることのできない他都道府県の方たちとも接することができ、会場以外の場でもとても充実した3日間となった。全国学会にまた参加できるよう今後の臨床の場でもがんばっていきたいと思う。



各支部支援活動状況

金沢東支部

金沢大学附属病院 麦井 直樹

平成24年度の金沢東支部第1回症例検討会を7月6日金曜日に金沢大学附属病院にて開催した。参加23名、発表4題であり、夜遅くまで討議された。

昨年の症例検討会で討議された金沢子ども医療福祉センターの渡邊めぐみさんの症例報告が、第46回日本作業療法学会の次世代セッションで最優秀賞を受賞した。今後も渡邊さんの活躍と第2の渡邊さんが誕生することを期待したい。



金沢西支部

済生会金沢病院 西谷 厚

今年度の西支部活動は例年通り、3回の症例報告会、報告会時に開催する2回の研修会、「ふくしの集い」への県士会員派遣である。第1回の報告会は7月22日開催予定であり、今年度は報告会後に支部施設間での意見交換会の予定である。2回目は10月、3回目は2月予定である。2回目、3回目は研修会の開催も予定であり、詳細については決まり次第報告する。

能登支部

恵寿鳩ヶ丘 福井 朱美

今年度、第1回能登支部事例検討会が、7月20日（金）18:30から恵寿総合病院で行われる。また、2月に恒例の宿泊研修会（懇親会あり）及び事例検討会を開催する予定である。現在、講師や宿泊場所等を調整中である。昨年度の第2回事例検討会では、過去最多の13演題の発表があった。今年度も、是非多くの発表及び参加をお待ちしている。

加賀支部

葵の園・丘の上 西村 幸盛

今年度は、8月5日（日）に能美市でボランティアフェスティバルが行われる。加賀支部が中心となって作業療法の啓発とPRを兼ねたブースの出展を予定しており、多数の協力をお願いしたい。また、例年同様症例検討会も11月18日（日）と平成25年2月17日（日）に予定している。会場等は未定であり、詳細は追って県士会HP等でお知らせしたい。12月初旬には研修会も予定している。内容は現在検討中であるが、希望や要望があれば是非一報をいただきたい。

平成24年度 社団法人石川県作業療法士会第1回理事会議事録

日時：平成24年4月20日 18:30～21:45 場所：県リハセンター

出席者：進藤、中川、柴田、東川、安本、小池、酒井、岡田、安田、麦井、千田、西谷、寺尾、大西
代理：東 委任状：西川、寺田、明福 部員：河野、庄源

第1号議案：各部・委員会・支部事業経過報告

(東川) 会員動向：平成24年4月20日現在、正会員数603名、個人賛助会員2名

【学術部】 麦井) 第21回石川県作業療法学会を9月2日に開催。

テーマは「その人らしさを支える作業療法」。演題募集の締め切り5月28日、抄録締め切り7月18日。平成24年度第1回事例検討会を7月6日に金沢大学附属病院で開催予定。

【教育部】 東代理) 今年度の福祉用具専門勉強会は石川県で開催。場所は福祉用具プラザ。

【病院医療部】 千田) 第7回達人作業療法研修会を5月13日に開催。研修会の開催までの流れをスムーズにするため研修会マニュアルを作成中。

【精神医療部】 岡田) 現職者選択研修会を7月22日に開催。

【財務部】 安本) 平成23年度決算について報告。

【事業部】 柴田) 協会広報部全体会議が3月18日に笹川記念会館で開催。

【事務局】 東川) 協会費と県士会費の納金が別々になり、非協会の県士会員が増えることも予想されるため、県士会の会員証を発行。

【認知症予防推進委員会】 岡田) 新しい認知症予防のパンフレットが完成。

(進藤) パンフレットは、研修会などに来てくれてきた会員に手渡し、身近な場所より使用していく。

第2号議案：石川県作業療法士会第39回総会の議案書について検討。

平成24年4月20日

議事録署名人 安田秀一 安本大樹

平成24年度 社団法人石川県作業療法士会 第39回総会 議事録

日時：平成24年5月19日 16:35～17:30 場所：金沢スカイホテル

会員の現在数：589名 出席者数：59名 (委任状376名)

総会次第

1. 開会のことば：中川等史副会長
2. 議長団選出：岩田祐美氏、中嶋理帆氏を選出
3. 会長挨拶：進藤浩美会長
4. 定足数報告：東川哲朗事務局長より出席者、委任状にて435名、定款第21条に基づき総会が成立。
5. 書記任命：庄源一夫氏、稲積愛氏を任命
6. 議事録署名人任命：堀江翔氏、高崎聡美氏を任命
7. 議案

第1号議案 平成23年度事業報告の件

各部担当理事より、平成23年度事業報告について説明。

【事業部】 出張講義を全面的に行っていく。前年は高校から要請あり、進藤会長と出張講義を実施。

【情報通信委員会】 協会データベースシステムモデル事業協力のため、日本作業療法士協会と会員の情報をやりとりしている。

【訪問作業療法委員会】 訪問リハ実務者研修を開催。訪問に関わっていない人の参加も期待する。

【特設委員会 専門委員会】 リーダー研修は東海北陸の他県士会と合同で開催する予定。9月8・9日に七尾市で3～40名程度で行う。

【他団体等の協力】 石川県脳卒中リハビリテーション推進協議会への協力は作業療法士から委員を出して欲しいと要望があった。門前・穴水・能美市に派遣した。市町村への働きかけも継続して行っていく必要がある。

賛成多数で承認。

第2号議案 平成23年度収支決算の件

安本大樹財務部理事より平成23年度収支予算案について説明。

賛成多数で承認。

第3号議案 その他

会費について

あつぷる 番匠) 今回の県士会費と協会費別納により、協会入会のメリットの少ない会員(子育て中など)が退会を検討している。

進藤会長) 元々懸念していたことであり、協会には訴え続けてきたが対策はとられていない。今後は今寺、清水、進藤の3名で協会に働きかけていく。

8. 議長団解任

9. 閉会のことば：中川等史副会長

平成24年5月19日 石川県作業療法士会

議長：岩田祐美氏、中嶋理帆氏

書記：庄源一夫、稲積愛

議事録署名人：堀江翔氏、高崎聡美氏



ときわ病院

榊原 隆義

ときわ病院は野々市市の南部に位置しています。私が入職した8年前はのどかな田園地帯の中にありましたが、あれよあれよという間にコミュニティバスが開通し役場が付近に移転。人口の増加と共にスーパーや飲食店等が建ち並び、アクセスも以前とは比較にならないくらい良好となりました。

当院は昭和6年に保護所として開設された非常に歴史のある精神病院です。移転や建て替えを経て定床268床として現在に至ります。関連施設としてグループホームや救護施設、地域活動支援センター、デイケアがあり、『オープンユアハート』を合言葉に地域に根差した医療を目指し周辺の地域精神保健医療を担っております。作業療法室には作業療法士5名と作業療法助手1名、デイケアには作業療法士2名が勤務し、私自身は入職以来デイケアに勤務しております。

当デイケアは今年で開設から14年目を迎え、現在は1日40名近くの方に利用を頂いております。その中で『日々是精進』の言葉を胸に利用者と共に自身や病氣と付き合っていく方法を悩んだり、その方に応じた生活の提案や生活そのものの支援に努めております。

私達を取り巻く状況は今まさにめまぐるしく変わり続けていると思いますが、昨年11月に市制に移行し新しく生まれ変わった野々市市のように、私達もまた新たな時代へと一歩踏み出していきたいと思っております。



会員が語る

金沢大学附属病院 堀江 翔

金沢社会保険病院の越田雄さんからバトンを受け取りました、金沢大学附属病院の堀江翔です。今年でOTとなつて6年目になります。これまでの5年間はめまぐるしく過ぎていましたが、良き先輩や仲間にも囲まれ、充実した日々を過ごせたと思っています。

まずは職場である附属病院についてですが、特定機能病院としての役割そのままに、新人の頃からそれまで聞いたことのなかった疾患や、重度の患者さんを多く担当することとなり、その中で自分がOTとして何ができるのかを日々模索しながら仕事をしてきました。最近では元気になった患者さんの笑顔を見ることが少し増えてきたかな、という印象でまだまだ未熟さを感じる日々です。

また、私は金沢大学の大学院にも通っています。今年で博士課程3年目になりますが業務と研究の両立はなかなか難しく、院の研究が疎かになってしまうことが多々あります。しかし、柴田先生はじめ先生方の叱咤激励を受けながら、OTに貢献できるような研究報告をめざして日々実験を行っている最中であります。

最後に、私が日々関わっている手外科領域のリハについての研究会である「北陸ハンドセラピィ研究会」を昨年度設立しました。若いOT・PTを中心に手外科医の先生方にも参加して頂き、非常に有意義な会になってきております。私もまだまだ勉強中の身ですので、興味がある方は一緒に知識・技術を深めていきましょう。

では次回は金沢大学医薬保健研究域の中嶋理帆さんにバトンを渡したいと思っております。よろしくお願ひします。

インフォメーション

第21回 石川県作業療法学会のご案内

今年も、第21回となった石川県作業療法学会が9月2日の日曜日に開催される。今年の学会長は桜ヶ丘病院の岡田千砂氏である。石川県作業療法学会では、はじめてとなる精神科部門からの学会長であり、近年増え続けている精神科分野の作業療法からも演題募集があった。全国学会やブロック学会ではなかなか自分の専門以外の分野の発表を聴くことは少ないので、石川県学会は他の分野の発表を聴く貴重な機会になる。

第21回 石川県作業療法学会

学会テーマ：その人らしさを支える作業療法 学会長 桜ヶ丘病院 岡田 千砂

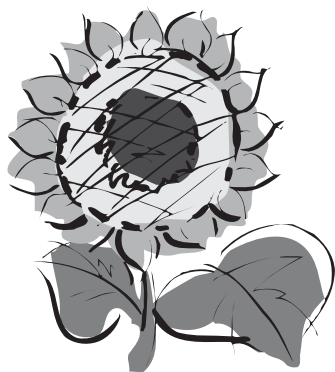
特別講演：『その人らしさを支える作業療法
～臨床30年の経験から、若者たちへのメッセージ～』
恵寿総合病院 進藤 浩美 氏

シンポジウム：その人らしさを支える作業療法
シンポジスト

- | | |
|------------------------|----------|
| 金沢脳神経外科病院 | 東川 哲朗 氏 |
| 介護老人保健施設 ふいらーじゅ | 西谷 すずな 氏 |
| 石川県リハビリテーションセンター | 寺田 佳世 氏 |
| 児童デイサービス キッズルーム ラディッシュ | 中川 等史 氏 |

日 時：平成24年9月2日（日） 9時00分～16時00分
会 場：金沢大学附属病院 宝ホール(外来棟4F)

学術部 麦井直樹



共に支えあい、共に歩む。
医療・福祉・保健のスペシャリストを育成します。

救急救命学科 (昼間部 3年制) 定員 35名	理学療法学科 (昼間部 3年制) 定員 35名	作業療法学科 (昼間部 3年制) 定員 35名	介護福祉学科 (昼間部 2年制) 定員 30名
--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------

厚生労働大臣指定養成校・石川県知事認可校
国際医療福祉専門学校七尾校
HPアドレスをケータイに送る

〒926-0816 石川県七尾市藤橋町西部 1 番地
TEL.0767-54-0177 FAX.0767-54-0215
<http://www.kifs-nanao.ac.jp>
Mail:info@kifs-nanao.ac.jp

酒井医療株式会社
金沢オフィス
〒921-8036 石川県金沢市弥生2丁目6番16号
TEL：076-241-5721 FAX：076-241-5722

製品カタログのご案内
<http://www.sakaimed.co.jp/service/productcatalog/flash.htm>

賛助会員名簿 (順不同)

A会員

社会医療法人董仙会

B会員

学校法人センチュリー・カレッジ
社会福祉法人徳充会青山彩光苑
医療法人社団勝木会
学校法人阿弥陀寺教育学園
医療法人社団和宏会

C会員

粟津神経サナトリウム
石川県済生会金沢病院
石川県リハビリテーションセンター
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院
医療法人社団浅ノ川千木病院
医療法人社団映寿会
医療法人社団片山津温泉丘の上病院
医療法人社団さくら会森田病院
医療法人社団慈豊会加賀温泉病院
医療法人社団丹生会
医療法人社団生学生会んやま健康クリニック
医療法人社団千木会
医療法人社団扇寿会
医療法人社団長久会
医療法人社団同朋会
医療法人社団中田内科病院
医療法人社団福久会
医療法人社団洋和会
医療法人社団輪生会
医療法人積仁会
金沢医科大学病院
金沢社会保険病院

金沢赤十字病院
公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院
社会福祉法人篤豊会
社会福祉法人北伸福祉会
社団法人石川勤労者医療協会城北クリニック
城北病院
珠洲市総合病院
芳珠記念病院
医療法人社団博洋会
医療法人社団持木会柳田温泉病院
医療法人社団浄心会
医療法人社団博友会
医療法人社団青樹会青和病院
宇野酸素株式会社
金沢義肢製作所
株式会社アイテム
株式会社トータルシステム
株式会社トミキライフケア
株式会社日本メディックス金沢営業所
株式会社半田
株式会社ヤマシタコーポレーション金沢営業所
酒井医療株式会社金沢オフィス
セントラルメディカル株式会社
三星自動車販売株式会社
ミナト医科学株式会社金沢営業所
有限会社リーフレットライフ
丸善株式会社金沢支店
株式会社メディベック

D会員

医療法人社団あいずみクリニック
みなと工房
株式会社ヒロセ板金

編集後記

今号より本格的に新メンバーが編集作業に参加しています。編集作業をとおして、いろいろな方が携わり、この一冊が作られていたことを改めて実感しました。諸先輩方のご苦勞を引き継ぎ微力ながら士会ニュースに貢献できればと思っています。

(今年は夏バテが早そうな編集人)

社団法人石川県作業療法士会ニュース 年4回発行

編集担当：酒井広勝、明福真理子、中島 孝、西村誠次、米田 貢、犬丸敏康、西川拡志、橋本 実、
杉浦有子、塩谷真美、田中 明、平木咲代子、牧野洋平、福井清美、寺井利夫、岩倉聡子、
前田勝也、山本真一郎、藤田隆司、買手登美子、小川正人、谷内香織、岩岸桃子、
中田幸栄、西出優子、山田ともみ

発行所：社団法人 石川県作業療法士会

〒926-8605 石川県七尾市富岡町94 恵寿総合病院 作業療法課 0767-54-8387

発行人：進藤浩美 印刷：ヨシダ印刷株式会社
